

令和7年8月4日(月)付

タイ訪れ異文化探求へ

きよつから 島根県立大生32人

島根県立大松江キャンパ

ス

(松江市浜乃木7丁目)

の1～3年生32人が、4日

からタイを訪れ教育機関で

研修に参加する。単位取得

にはつながらない課外活動

だが、普段は教員や保育士

などを目指して勉強する学

生が、タイの孤児院に届け

る支援物資を集めなど準

備を進める。

12日までの間、協定を結

ぶ国立シーナカリンウイロー

ト大教育学部で学ぶ学生

とのディスカッションや、

援物資を募りたい」と提案。

日本語教育、図工などの授業を担当する。異国の文化に触れ、これから教育の在り方を考え契機になればと県立大が初めて企画した。

教育学科3年の吉岡未萌さん(21)は「孤児院の子どもたちと、言語の壁を越えたコミュニケーションを楽し

みたい」と意気込む。中谷准教授は「将来、教育に携わる学生にとって視野を広げる良い機会になる」と期待する。

(増田枝里子)



集まった支援物資を前に感謝の気持ちを示す
学生＝松江市浜乃木7丁目、島根県立大松江
キャンパス

学内メールや大学主催のイベントで呼びかけ、300着の衣類などを集めた。手分けして現地へ運び寄付する。

学生たちは、日本文化を伝えるパワー・ポイントを作り、英語で発表する準備を進め。人間文化学部保育教育学科3年の吉岡未萌さんは「孤児院の子どもたちと、言語の壁を越えたコミュニケーションを楽しみたい」と意気込む。中谷准教授は「将来、教育に携わる学生にとって視野を広げる良い機会になる」と期待する。

(増田枝里子)